

目を閉じて田池留吉を思うとき、嬉しいという思いが心の中に広がってきます。嬉しい、嬉しい、そしてお母さん、ありがとうと続いて出てきます。涙があふれてこんなに素直になっている自分が不思議なくらいです。この心でこの思いで人と接しられたらどんなに心は軽く毎日が楽しいだろうかと思います。

今は、セミナー - に集うみんなそれぞれが敏感になって田池留吉の波動を感じるようにセミナー - は続けられています。時代錯誤も甚だしいと思いますが、私はセミナー - に集って長い間、チャネリングということに拘ってきました。いわゆる霊道が開かなければ、この学びが分からないとずっと思ってきました。霊道を能力としてとらえてきた私は、その能力を身につけたくてどうすれば私の心の窓が開くのかとそういう思いで反省をし、セミナー - に参加していました。セミナー - に参加する動機、目的を何度も確認するように促しを受けましたが、見たくない部分だったから自分に甘くおざなりにしていました。チャネラ - になればみんなの注目を引くこともさることながら、意識の世界に敏感になれば、すなわちチャネラ - になれば、自分の心がよく見れて反省もスムーズ - ズにいく、そうならば自分の心癖も簡単に気付いて修正も容易だろうと思ってきました。もっとも手軽な方法を探してきました。そういう幼稚というか、打算的な思いで長い間セミナー - に通い続けていました。

7年の年月が過ぎました。私の中の他力のエネルギー - はまだまだしっかりとこの心の中にあります。少し敏感になってそのことが自分の心で確認できるようになりました。そして田池留吉を思えば、嬉しくやさしい思いもこの心から出てきます。そしてその他力のエネルギー - はそのやさしい思いを信じて受け入れていかない限り私の中から決して消えることがないということも分かりました。意識の世界に敏感になるということは、私が考えていたそんな生易しいものではありませんでした。自分がどれだけの工

ネルギ - を握っているかを確認するために私はチャネラ - ということを選んできたのだなあと思います。本当にチャネラ - というのは自分のためでした。たくさんの意識を受けて多くの言葉を出すチャネラ - をよく分かった人としてきました。根本が変わらない限りどうしようもなかったことが分かりました。波動が分からない、波動が信じられない限り何も見えてはこないということだったのです。いつも原点でした。そして田池留吉を信じていきますというこの心から出てくる思いを大切に育てていきたいです。